

第一類  
軍  
港

0021

七版 横須賀鎮守府秘例規

第一類 軍 港

●東京灣方面防禦海面取締規則

昭和十八年一月十四日  
機密横鎮法令第六號

改正 昭和十八年機密横鎮法令第四三號

防禦海面令及昭和十六年海軍省告示第三八號ニ依ル東  
京灣方面防禦海面取締規則左ノ通定ム

東京灣方面防禦海面取締規則

- 第一條 東京灣方面防禦海面ヲB、C、D、E、F、G、  
H、I、J、K、L及Mノ十二區ニ分ツ(別圖第一參照)
- 第二條 東京灣方面防禦海面ニ左ノ航路標識ヲ設置ス  
(別圖第二參照)

航路標識ノ名稱	海、岡、上、ノ、位、置	燈、質、其、ノ、他、
A 挂 燈 浮 標	海嶺島燈標ヨリ一三二度六〇五〇米	閃白光 黒塗
B 挂 燈 浮 標	海嶺島燈標ヨリ一〇四度六五〇〇米	閃紅光 紅塗
C 挂 燈 浮 標	海嶺島燈標ヨリ一〇四度六七〇〇米	閃綠光 黒塗
D 挂 燈 浮 標	所要ノ向ニノミ告示ス	所要ノ向ニノミ告示ス
E 挂 燈 浮 標		
F 挂 燈 浮 標		
G 挂 燈 浮 標	第三海堡燈臺ノ一度二一〇〇米	閃紅光 紅塗
H 挂 燈 浮 標	第三海堡燈臺ノ三五〇度一七〇〇米	閃綠光 黒塗

第一類 軍 港

秘例 改六

0022

第一類 軍 港

津	武	千	浦	島	浮	島	萩
久	山	駄	賀	ヶ	島	島	生
井	山	崎	港	ヶ	見	倉	見
標	標	標	南	埼	張	見	張
燈	燈	燈	岸	標	所	所	所
			標	燈	標	標	標
			燈	燈	燈	燈	燈
				所要ノ向ニノミ告示ス			
				所要ノ向ニノミ告示ス			

第三條 東京灣方面防禦海面ニ左ノ航行禁止區域ヲ設定ス(別圖第二參照)

第一航行禁止區域	名 稱	海 岡 上 ノ 位 置	註 事
		<p>左ノ諸點ヲ順次連絡シタル線ニ依リ圍マル海面</p> <p>(1) 明神崎〔浦賀港ノ北岸〕ノ九〇度一九〇〇米地點</p> <p>(2) 九〇度二、五哩地點</p> <p>(3) 觀音埼燈臺ノ八〇度四四〇〇米地點</p> <p>(4) 觀音埼燈臺ノ五五度一四〇〇米地點</p> <p>(5) 觀音埼燈臺ノ九〇度一一〇〇米地點</p> <p>(6) 明神崎ノ九〇度一九〇〇米地點</p>	<p>特別ノ必要ニ依リ本區域ヲ通航セントスル艦船</p> <p>舶ハ事前横須賀防備隊司令ト協議シ航路ノ指示ヲ受クベシ〔横須賀防備隊司令ハ情況ニ應ジ艦艇ヲ以テ水路ノ嚮導ヲ行ハシム〕</p>

0023

第一類 軍 港

<p>第四航行禁止區域</p>	<p>第三航行禁止區域</p>	<p>第二航行禁止區域</p>
<p>海面 北緯三五度一分線東經一三九度四〇分線及北緯三四度五六分線及東經一三九度三〇分線ヲ以テ圍繞スル</p>	<p>左ノ諸點ヲ順次連絡シタル線ニ依リ圍マルル海面 (イ) 雨崎北東端ノ九〇度一〇〇〇米 (ロ) 雨崎北東端ノ九〇度二、八哩 (ハ) 雨崎北東端ノ九〇度三、八哩 (ニ) 劍崎燈臺ノ二〇〇度三、三哩地點 (ホ) 劍崎燈臺ノ九〇度八〇〇米地點 (ヘ) 劍崎燈臺ノ九〇度八〇〇米地點 (イ) 地點</p>	<p>左ノ諸點ヲ順次連絡シタル線ニ依リ圍マルル海面 (イ) 海嶺島燈標 (ロ) 海嶺島燈標ノ一八〇度四六〇〇米地點 (ハ) 海嶺島燈標ノ一八〇度四六〇〇米地點 (ニ) 海嶺島燈標ノ九七度六二〇〇米地點 (ホ) 燈明崎北端〔浦賀港南岸〕ノ九〇度六二〇〇米地點 (ヘ) 燈明崎北端ノ九〇度一〇〇〇米地點 (イ) 海嶺島燈標</p>
<p>昭和十八年一月二日以降絕對航行禁止トス</p>	<p>横須賀鎮守府部隊ノ艦船船舶〔館山海軍航空隊ノ備入漁船ヲ含ム〕ニシテ横須賀防備隊司令ノ承諾ヲ得タルモノハ晝間本航行禁止區域ヲ通航スルコトヲ得</p>	<p>同 右</p>

二ノ二

秘 密 級 六

0024

<p>第五航行禁止區域</p>	<p>左ノ諸點ヲ順次連絡シタル線及陸岸ニ依リ圍マルル海面                  (イ) 燈明埼〔浦賀港南岸〕北端                  (ロ) (イ)ノ九〇度一〇〇〇米地點                  (ハ) 海瀬島燈標                  (ニ) 千代埼〔久里濱灣北岸〕</p>	<p>神奈川縣横須賀市及三浦郡ノ各漁業組合所屬漁船ニシテ横須賀防備隊司令ノ許可ヲ得タルモノハ本間本海面ノ航行ヲナスコトヲ得此ノ場合同司令所定ノ標識ヲ掲グルヲ要ス</p>
<p>第六航行禁止區域</p>	<p>左ノ諸點ヲ順次連絡シタル線及陸岸ニ依リ圍マルル海面                  (イ) 旗山埼〔觀音埼北西方〕北端                  (ロ) 觀音埼燈臺ノ五五度一四〇〇米地點                  (ハ) 觀音埼燈臺ノ九〇度二一〇〇米地點                  (ニ) 明神崎〔浦賀港北岸〕ノ九〇度一九〇〇米地點                  (ホ) 觀音埼燈臺</p>	<p>同 右</p>
<p>第七航行禁止區域</p>	<p>左ノ諸點ヲ順次連絡シタル線ニ依リ圍マルル海面                  (イ) 木更津港防波堤端燈臺ノ三五〇度六七〇〇米地點                  (ロ) (イ)ノ一七〇度四〇〇〇米地點                  (ハ) (ロ)ノ二六〇度四〇〇〇米地點                  (ニ) (ハ)ノ二六〇度四〇〇〇米地點</p>	<p>一、海軍艦船ノ航行碇泊ハ此ノ限ニ非ズ                  二、横須賀防備隊司令ノ許可シタル船舶ハ其ノ期間本海面ニ於テ航行又ハ碇泊スルコトヲ得</p>

0025

第四條 第三海堡旗山崎間ノ水路ハ防材ヲ以テ之ヲ閉鎖シ特定艦船船舶ノ外航行ヲ禁止ス

第五條 東京灣方面防禦海面F區及G區ニ於テハ左ノ艦船船舶ノ外夜間航行ヲ禁止ス

一 軍艦、驅逐艦、水雷艇、掃海艇、驅潜艇及特設軍艦

二 海面防備部隊ノ特務艇、特設特務艇及雜役船

三 横須賀海軍港務部及館山海軍航空隊ノ雜役船

四 特務艦及特設特務艦船ニシテ本府、大湊警備府又ハ大阪警備府ノ海軍保護機關ヨリ航路ノ指示ヲ受ケタルモノ

五 護衛艦船又ハ水路嚮導艦船ノ嚮導ヲ受ケタルモノ

六 本府指定ノ水先人ヲ乗船セシメタルモノ

七 右以外特ニ本府ノ許可又ハ指令ヲ受ケタルモノ

第六條 航行禁止區域ニ於テハ漁獲、採藻其ノ他ノ海中作業ヲナスコチヲ禁止ス

第七條 東京灣方面防禦海面B區、C區及E區ヨリ浦賀水道ニ入ラントスル艦船船舶ハ出港前左ノ海上交通保護機關ニ就キ航行航路ニ關スル指示ヲ受クベシ

横須賀鎮守府海上交通保護部  
東京在勤海軍武官府  
横濱在勤海軍武官府  
浦賀海軍監督官事務所

第八條 前條ノ艦船船舶ハ第二海堡北方海面ニ於テ其ノ艦船名符字信號ヲ掲ゲ〔夜間ハ發光信號ニテ艦船名符字信號ヲ行フ〕同見張所ノ整備旗〔第三代表旗〕全揚〔夜間ハ綠燈二個連揚〕ヲ確認シタル後D區ニ進入スルモノトス

第九條 東京灣方面防禦海面外ヨリH區ニ入ラントスル艦船船舶ハ出港前最寄海上交通保護機關ニ就キ航路ノ指示ヲ受ケン線〔野島埼、大島南端連結線〕通過豫定時刻ヲ申告スベシ

第十條 東京灣方面防禦海面外ヨリM區ニ入ラントス

ル艦船船舶ハ出港前最寄海上交通保護機關ニ就キ航路ノ指示ヲ受ケ〇線〔石室埼、神子元島及大島南端連絡線〕通過豫定時刻ヲ申告スベシ

第十一條 前二條艦船船舶ハ洲ノ埼見張所、風早埼見張所及又ハ劍埼見張所附近通航ノ際其ノ船名符字信號ヲ掲ゲ〔夜間ハ發光符信號ニテ其ノ船名符字信號ヲ行フ〕同見張所ノ整備旗〔第三代表旗〕〔夜間ハ綠燈二個連掲〕ヲ確認シタル後F區又ハG區ニ進入スルモノトス

第十二條 總噸數一、〇〇〇噸未満艦船船舶ハ第八條及第十條ノ信號ヲ省略スルコトヲ得 此ノ場合夜間ニアリテハF區、G區行動中兩舷舷燈ヲ點燈スベシ  
第十三條 編隊航行中ノ艦船船舶第八條及第十條ノ信號ヲナス場合先頭艦〔船〕ノミ船名符字信號〔船團番號信號〕ヲ行ヒ後續艦〔船〕ハ之ヲ省略スルコトヲ得  
第十四條 左ノ見張所ニ於テ黑球及B旗一旒〔夜間ハ紅燈及白燈〕ヲ連掲シアル時間ハ東京灣部隊所屬艦

船ノ外F區及G區ノ航行ヲ禁止ス  
現ニ右海面航行中ノ艦船船舶ハ速ニ機關ノ運轉ヲ中止シ漂泊スルヲ要ス 但シ保安上ノ顧慮アル場合ハ速ニ最寄安全海面ニ到リ漂泊スルモノトス  
第二海堡見張所、荻生見張所、島砥倉見張所、浮島見張所、洲ノ埼見張所、劍埼見張所、鳥ヶ埼見張所、觀音埼見張所

第十五條 海軍哨戒艦船危險防止等ノタメ航行艦船船舶ノ航進ヲ急速停止セシメントスル時ハ「K」旗ヲ掲ゲ汽笛ヲ以テ長符ヲ連吹シツツ向首接近ス  
此ノ場合當該艦船船舶ハ直ニ行過ヲ止メ指示ヲ俟ツベキモノトス  
第十六條 航路ノ嚮導ニ任ズベキ海軍艦船ハ必要ニ應ジ晝間ハH旗ヲ掲ゲ夜間ハ白燈二個ヲ上下ニ連掲ス  
第十七條 F區及G區ニ於テハ作戰上ノ所要アルニ非ザル限り水中爆發作業ヲナスコトヲ得ズ  
第十八條 第二條ノ航路標識及第三條ノ航行禁止區域

0027

ハ隨時之ヲ變更スルコトアリ此ノ場合之ヲ海軍諸公報(部内限)及秘水路告示ニ掲載ス

**第十九條** 東京灣方面防禦海面ノ水路嚮導ニ任ゼシムルタメ横須賀鎮守府水先人ヲ置キ横濱在勤海軍武官ノ命ヲ承ケ服務セシム 但シ防禦海面内ノ航法ニ關シテハ横須賀防備隊司令ノ區處ヲ承ク

**第二十條** 横濱在勤海軍武官及東京在勤海軍武官ハ船舶保護法ノ規程ニ依リ京濱港出港船舶ノ船長ニ對シ前條水先人ノ使用ヲ命ズルコトヲ得

**第二十一條** 外國籍船舶ハ第十九條ノ水先人ヲ乗船セシムルニ非ザレバF區及G區ニ進入スルコトヲ得ズ

**第二十二條** 第十九條水先人ノ乗退船地ヲ左ノ通定ム

乘退船地	乘退船用短艇便ノ準備	記事
神戶	水先人組合ニテ準備ス	
四日市	四日市地方海軍運輸部ニテ準備ス	

第一類 軍 港

伊東沖	水先人組合ニテ準備ス
船形沖	横須賀防備隊ニテ準備ス
横濱	水先人組合ニテ準備ス
東京	

**第二十三條** 前諸條ノ水先料金ハ水先人組合ノ定ムル所ニ依ル

**第二十四條** 横濱在勤海軍武官ハ東京灣方面防禦海面通航船舶ノ保安警戒及海軍各部トノ信號連絡ニ任ゼシムルタメ所要ノ下士官兵ヲ派遣シ(所要兵器携行)前諸條水先人ノ業務ニ協力セシムルコトヲ得

**第二十五條** 横須賀軍港境域内ノ取締ニ關シテハ軍港要港規則横須賀軍港細則其ノ他關係諸法規ノ定ムル所ニ依ル

附 令

昭和十七年横須賀鎮守府命令第一四號及昭和十六年機密横須賀鎮守府命令作第一九號ハ之ヲ廢止ス

秘例 收六

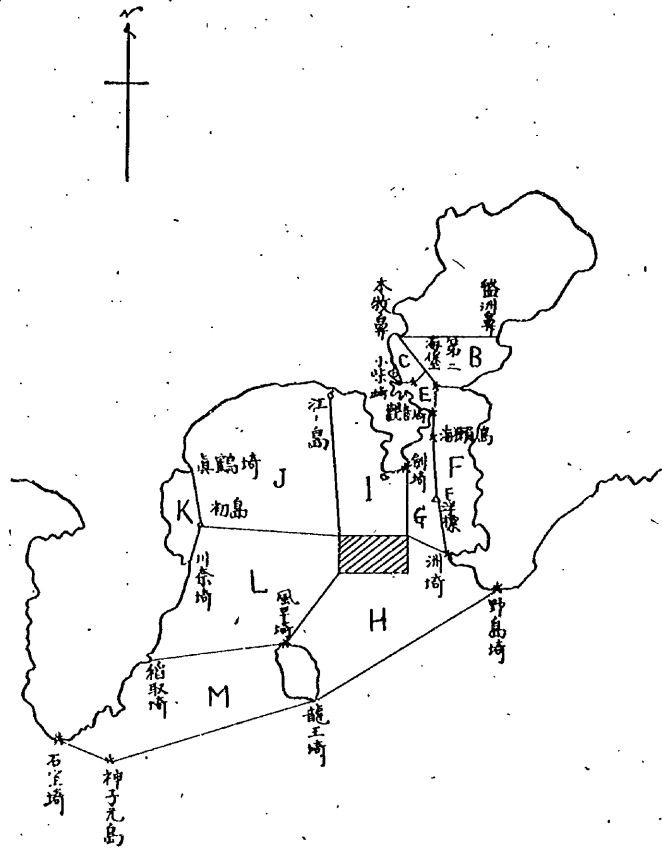
0028

二ノ六



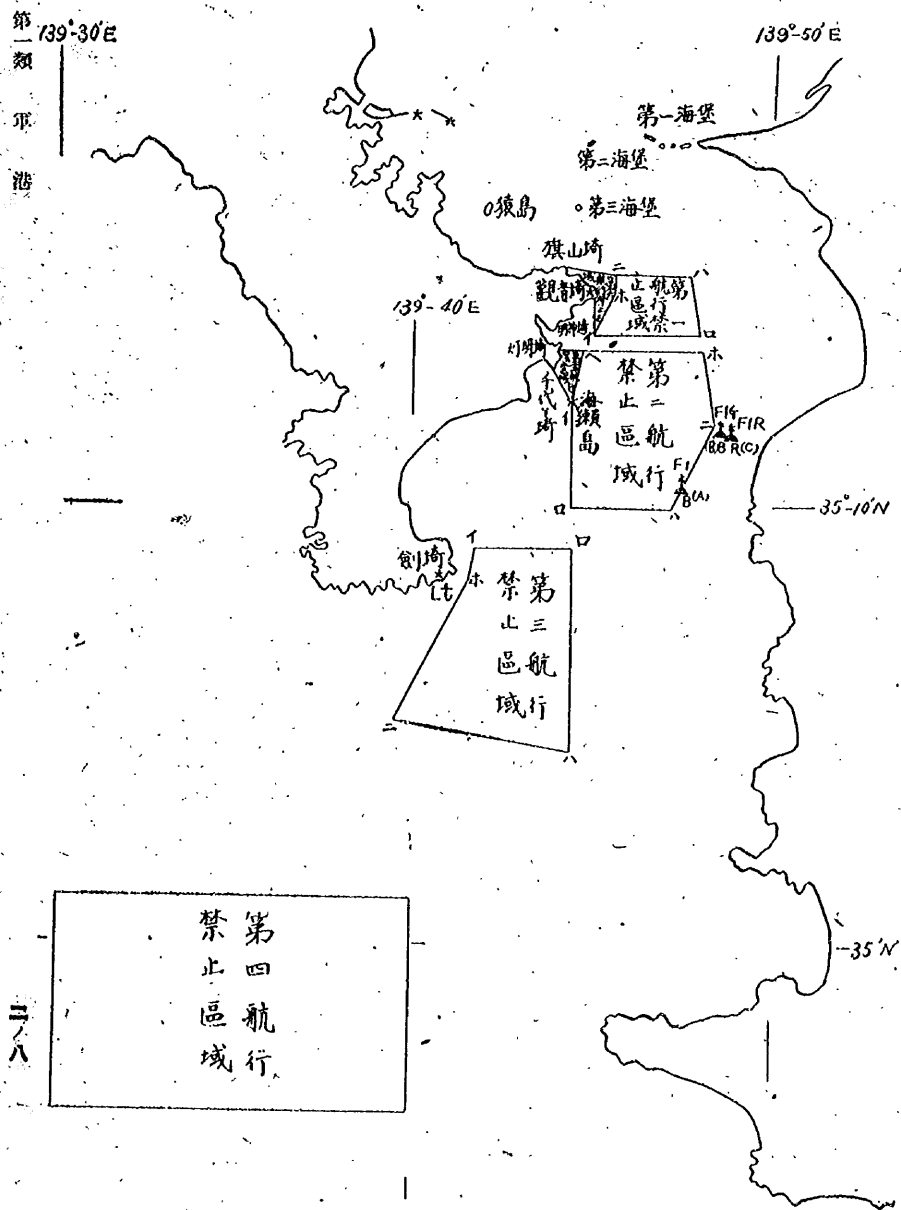
(別圖第一)

東京灣方面防禦海面區域圖



0029

(二第圖別)  
圖域區止禁行航面海禦防灣京東



0030

●伊勢灣方面防禦海面取締規則

昭和十八年三月六日  
機密横領法令第二八號

改正 昭和十八年機密横領法令第四三號

防禦海面令及昭和十六年海軍省告示第三八號ニ依ル伊

勢灣方面防禦海面取締規則左ノ通定ム

伊勢灣方面防禦海面取締規則

第一條 伊勢灣方面防禦海面ヲ左ノ七區ニ區分ス(別

圖第一參照)

名 稱	海 園 上 位 置
A 區	立島崎(瀨美半島)、神社港南突堤端連絡線及左ノ踏點ヲ連絡スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 伊良湖崎、神島燈臺、神島南端、菅島燈臺、日和山燈臺
B 區	左ノ踏點ヲ連絡スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 瀨美半島高松崎、瀨美半島大山頂ノ一三〇度三測地點、神島燈臺ノ九〇度八測地點、神島燈臺、伊良湖崎
C 區	左ノ踏點ヲ連絡スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 濱名湖西側突角、大王崎ノ五五度一八測地點、大山頂ノ一八〇度五測地點、神島燈臺ノ九〇度八測地點、大山頂ノ一三〇度三測地點、高松崎
D 區	左ノ踏點ヲ連絡スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 神島燈臺、神島燈臺ノ九〇度八測地點、大山頂ノ一八〇度五測地點、安乘崎燈臺ノ五二度四測地點、菅島燈臺ノ一六〇度二測地點、菅島燈臺、神島南端
E 區	左ノ踏點ヲ連絡スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 大山頂ノ一八〇度五測地點、大王崎ノ五五度一八測地點、大王崎ノ五五度七・五測地點、安乘崎ノ五二度四測地點

0031

秘例 第六

F 區	左ノ踏點ヲ連結スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 日和山燈臺、菅島燈臺、菅島燈臺ノ一六〇度二・二度地點、安乘埼ノ五二度四度地點、安乘埼
G 區	左ノ踏點ヲ連結スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 安乘埼、安乘埼ノ五二度四度地點、大王埼ノ五五度七・五度地點、大王埼

第二條 伊勢灣方面防禦海面ニ左ノ航路標識ヲ設置ス

航路標識ノ名稱	海 上 位 置	燈 質 其 他
第一 掛燈浮標	神島燈臺ノ六四度一・二〇〇米	紅 陰 紅 閃 光
第二 掛燈浮標	神島燈臺ノ一一八度九七〇〇米	同 右
第三 掛燈浮標	安乘埼燈臺ノ五二度一六〇〇米	黑 陰 白 閃 光
第四 掛燈浮標	安乘埼燈臺ノ九八度一〇四〇〇米	紅 陰 紅 閃 光
第五 掛燈浮標	深美半島大山頂(三二八)ノ一二〇度一五九〇〇米	黑 陰 白 閃 光

第三條 伊勢灣方面防禦海面ニ左ノ航行禁止區域ヲ設定ス(別圖第二參照)

名 稱	海 上 位 置	記 事
第一 航行禁止區域	左ノ踏點ヲ連結スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 神島燈臺、神島燈臺ノ九〇度四度地點、菅島燈臺ノ一六〇度二・二度地點、菅島燈臺	

第一類 軍 港

三〇〇

0032

第二航行禁止區域	左ノ諸點ヲ連結スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 神島燈臺ノ九〇度四漚地點、神島燈臺ノ九〇度八漚地點、渥美半島大山頂ノ一八〇度五漚地點、安乘埼燈臺ノ五二度四漚地點、菅島燈臺ノ一六〇度二・二漚地點
第三航行禁止區域	左ノ諸點ヲ連結スル直線ヲ以テ圍繞スル海面 渥美半島大山頂、渥美半島大山頂ノ一三〇度三漚地點、渥美半島高松埼

第四條 伊勢灣方面防禦海面B區及D區ニ於テハ左ノ

艦船船舶ノ外夜間航行ヲ禁止ス

- 一 軍艦、驅逐艦、水雷艇、掃海艇、驅潜艇及特設軍艦

- 二 海面防備部隊ノ特務艇、特設特務艇及雜役船

- 三 特務艦及特設特務艦船ニシテ本府又ハ大阪警備府ノ海軍保護機關ヨリ航路ノ指示ヲ受ケタル

- モノ

- 四 護衛艦船又ハ水路嚮導艦船ノ嚮導ヲ受ケタル

モノ

- 五 本府指定ノ水先人ヲ乗船セシメタルモノ

- 六 右以外特ニ本府(又ハ伊勢防備隊)ノ許可又ハ指

令ヲ受ケタルモノ

第五條 航行禁止區域ニ於テハ漁獵採藻其ノ他ノ海中

作業ヲナスコトヲ禁止ス

但シ第一航行禁止區域又ハ第三航行禁止區域ニ於テ

伊勢防備隊司令ノ特許ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在

ラズ

第六條 伊勢灣及三河灣方面ヨリ伊勢灣方面防禦海面

ニ入ラントスル艦船船舶ハ出港前左ノ海上交通保護

機關ニ就キ航行航路ニ關スル指示ヲ受クベシ

名古屋在勤海軍武官府

四日市地方海軍運輸部

但シ菅島水道又ハ桃取水道ヲ經由スルモノハ此ノ限

ニ在ラズ

第七條 伊勢灣方面防禦海面A區ヨリ同防禦海面ノ他ノ區域(下區ヲ除ク)ニ入ラントスル艦船船舶ハ右行動ニ先テ伊勢防備隊司令ヨリ航行航路ニ關スル指示ヲ受クベシ

第八條 伊勢灣方面防禦海面外ヨリB區又ハ下區ニ入ラントスル艦船船舶ハ出港前最寄海上交通保護機關ニ就キ航路ノ指示ヲ受ケ當該區外端境界線通過豫定時刻ヲ申告スベシ

第九條 第六條及第七條ノ艦船船舶ハ神島見張所附近通航ノ際其ノ船名符字信號ヲ掲グ〔夜間ハ發光信號ニテ其ノ船名符字信號ヲ行フ〕同見張所ノ整備旗〔第三代表旗〕〔夜間ハ綠燈二個連掲〕ヲ確認シタル後B區ニ進入ス

第八條ノ艦船船舶御前崎見張所、神島見張所及大王崎見張所附近通航ノ際又右ニ準ズ

第十條 總噸數一、〇〇〇噸未満艦船船舶ハ前條ノ信

第一類 軍 港

號ヲ省略スルコトヲ得 此ノ場合夜間ニアリテハB區及下區行動中兩舷舷燈ヲ點出スベシ

第十一條 編隊航行中ノ艦船船舶第九條ノ信號ヲナス場合先頭艦(船)ノミ船名符字信號(船團番號信號)ヲ行ヒ後續艦(船)ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第十二條 神島見張所ニ於テ黑球及B旗一旒〔夜間ハ紅燈及白燈〕ヲ連掲シアル時間ハ伊勢灣部隊所屬艦ノ外B區ノ航行ヲ禁止ス

現ニ右海面航行中ノ艦船船舶ハ速ニ機關ノ運轉ヲ中止シ漂泊スルヲ要ス 但シ保安上ノ顧慮アル場合ハ速ニ最寄海面ニ到リ漂泊スルモノトス

第十三條 海軍哨戒艦船危險防止等ノタメ航行艦船船舶ノ航進ヲ急速停止セシメントスル時ハ「K」旗ヲ掲グ汽笛ヲ以テ長符ヲ連吹シツツ向首接近ス

此ノ場合當該艦船船舶ハ直ニ行進ヲ止メ指示ヲ俟ツベキモノトス

第十四條 航路ノ嚮導ニ任ズベキ海軍艦船ハ必要ニ應

二〇三三

0034

シ晝間ハH旗ヲ掲グ夜間ハ白燈二個ヲ上下ニ連掲ス

第十五條 A區、B區、D區及E區ニ於テハ作戰ノ所

要アルニ非ザル限リ水中爆發作業ヲナスコトヲ得ズ

第十六條 第二條ノ航路標識及第三條ノ航行禁止區域

ハ隨時之ヲ變更ス 此ノ場合之ヲ海軍諸公報(部内

限)及秘水路告示ニ掲載ス

第十七條 伊勢灣方面防禦海面ノ水路嚮導ニ任ゼシム

ルタメ横須賀鎮守府水先人ヲ置キ横濱在勤海軍武官

ノ命ヲ承ケ服務セシム 但シ防禦海面内ノ航法ニ關

シテハ伊勢防備隊司令ノ區處ヲ承ク

第十八條 横濱在勤海軍武官及名古屋在勤海軍武官ハ

船舶保護法ノ規程ニ依リ横濱又ハ名古屋出港船舶ノ

船長ニ對シ前條水先人ノ使用ヲ命ズルコトヲ得

第十九條 外國籍船舶ハ第十七條ノ水先人ヲ乗船セシ

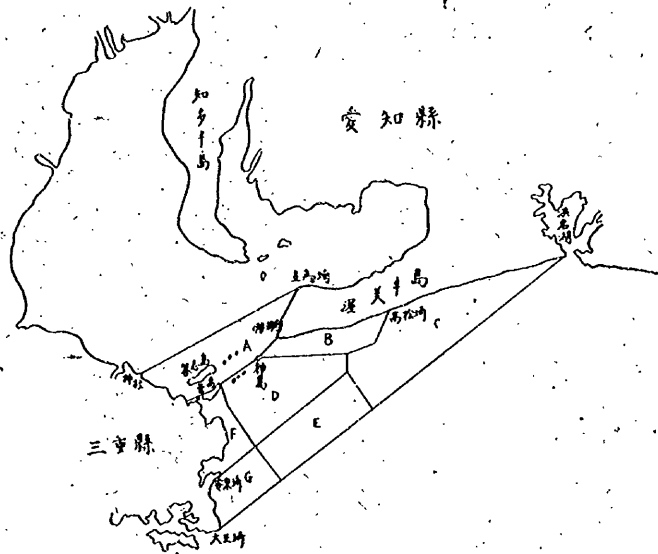
ムルニ非ザレバB區及E區ニ進入スルコトヲ得ズ

第二十條 前諸條ノ水先料金ハ水先人組合ノ定ムル所

ニ依ル

0035

第一類 軍港



(別圖第二)

伊勢灣方面防禦海面區分圖

三ノ四

秘例  
收六

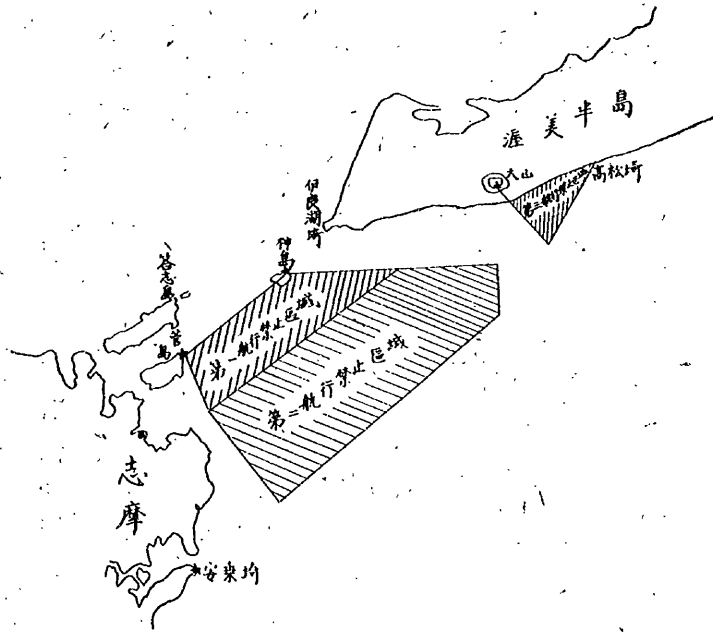
0036



別圖第二

第一類 軍港

伊勢灣方面防禦海面航行禁止區域圖



二一五

0037

●軍港内家屋等建築許可ニ關スル件

明治三十三年十一月三十日  
軍一第二五二號

(軍務局長通知)

軍港内家屋等建築許可ニ關スル件

本年十一月十九日省令第二十四號ヲ以テ軍港要港規則第十八條中ニ第九號ヲ加ヘラレタルノ主旨ハ重ニ外國人ノ間諜トシテ我帝國海軍ノ軍機事項ヲ探知スルノ目的ヲ以テ建築スル家屋例ヘハ隱然其ノ窓間等ヨリ軍港要港内ノ現況ヲ錄取撮影シ得ルカ如キ家屋ノ新築ヲ制止セントスル儀ニ有之候故ニ其ノ新設ノ目的ト實況トニ應シ人民ノ生産ヲ妨ケス而モ現ニ軍機ヲ保護スルノ程度ヲ以テ貴司令長官ニ於テ可然許可御取計相成候様致度此段爲念申進候也

第一類 軍 港

●軍港内ノ水陸交界及海面等ニ變化ヲ及ボスベキ工事施行ノトキ水路部ヘ通知ノ件

明治三十六年七月八日  
横領機密第一九〇號 經理部長、港務部長ヘ傳達  
明治三十六年七月七日  
海總機密第二一一號

(海軍大臣達)

軍港内ノ水陸交界及海面等ニ變化ヲ及ボスベキ工事施行ノトキ水路部ヘ通知ノ件

自今海面ノ埋立浚渫船渠埠頭ノ設廢模様替等苟モ軍港内ニ於ケル水陸ノ交界及其ノ海面等ニ變化ヲ及ボスベキ工事ヲ行ヒタルトキハ之カ實況ヲ詳記シ其ノ都度直接水路部ヘ通知スヘシ

秘例 改六

0038

二ノ二六

### ●横須賀鎮守府水陸施設研究 委員會規程

昭和十四年二月十四日  
機密横鎮法令第一〇號

横須賀鎮守府水陸施設研究委員會規程左ノ通定ム  
横須賀鎮守府水陸施設研究委員會規程  
一 委員長(主任)委員

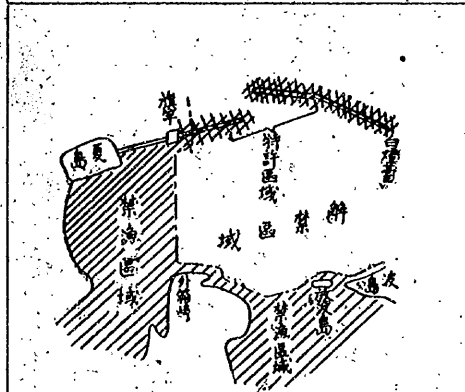
委員長	其ノ都度指定ス	
主任委員	鎮守府	機關長、首席參謀
委員	鎮守	部長
	港務	部長
	建築	部長
	軍需	部長、部長(戰時計畫主任)
	工務	部長、部長
	工廠	關係アルトキノミ部長
	右以外ノ各廠	要スルトキノミ其ノ都度指定ス

各委員ハ要スレバ部下高等官ヲ帶同スルコトヲ得  
委員事故アルトキハ代理者ヲ出スモノトス

- 二期日 其ノ都度定ム
- 三場所 鎮守府會議室  
但シ變更ヲ要スル場合ハ其ノ都度定ム
- 四研究事項 其ノ都度定ム  
各委員ハ臨時研究事項又ハ議題ヲ委員長ニ提出スルコトヲ得

- 五其ノ他  
同一研究事項ニ對シ數回本研究委員會ヲ開催スルコトアルヘシ一事項ニ對スル研究委員會終了後主任委員ハ指定期日迄ニ研究ノ成果ヲ取纏メ委員長ニ報告スルモノトス

0039



九例	禁漁區域	特許區域	解禁區域
	至	自	至
	八月末日	八月五日	八月末日

釣魚者注意事項

(イ) 交通船艇ノ妨害ヲ爲サザルコト  
 (ロ) 防波堤燈臺ノ礎石上ニ昇ラザルコト  
 (ハ) 發射場附近二十米以内ニ立入ラザルコト  
 (ニ) 港務部掛員ノ指示アルトキハ速ニ之ニ従フコト  
 (ホ) 釣魚ニ使用スル船舶ハ軍港出入ノ許可ヲ受ケ且所定ノ旗章ヲ掲ゲタルモノニ限ル

前略號ノ違反者ハ事情ノ如何ヲ不問許可證ヲ沒收ス

別圖

- 軍港内釣魚許可ノ件 (暫行)
- 一 演習、傳染病發生等特別ノ事情ナキ限り毎年夏季別圖區域ニ於テ軍港内釣魚ヲ許可ス
- 二 從來部内高等官同判任官以外ノ者(鎮守府特許ノ

モノ)ヲ許可シ居リタルモ取締上不便ナルノミナラス年々範圍擴大シ取扱ニ困難トナル傾向アリタルヲ以テ昭和九年ヨリハ之ヲ除カレ部内高等官同判任官ノミトナレリ

秘例 改六

0040

● 巡察將校ニ准士官派遣ノ件

昭和十三年六月  
副長會

(首席參謀口述)

巡察將校ニ准士官派遣ノ件

巡察將校ハ中少尉並ニ特務士官ヲ派遣スルコトニ定メ  
ラレアリ現員少ク中少尉、特務士官ノ派遣困難ナル所  
轄ハ准士官ヲ以テ之ニ充ツルモ又止ムヲ得ザルベシ然  
レ共巡察將校ハ中少尉並ニ特務士官ヲ派遣スベキモノ  
ナリトノ精神ハ何處迄モ尊重シ准士官ノ派遣ハ最少限  
度ニ止メラレ度

● 巡察將校ノ人選ニ關スル件

昭和十五年五月一日  
横領第六八〇號

(參謀長ヨリ關係所轄長宛)

巡察將校ノ人選ニ關スル件申進

首題ノ件ニ關シテハ過日副長會報ニ於テ巡察將校ノ重  
責ニ鑑ミ艦、隊務ニ支障ナキ限り成ル可ク士官ヲ之ニ  
充當スベキ旨申進致シ置キ候處乘組中少尉相當勤務  
シアル所轄ニシテ未ダ依然トシテ准士官ヲ之ニ充ツル  
モノ勘カラズ士官ノ配員少キ現狀ニ於テ止ムヲ得ザル  
點無キニ非ザルモ本件ノ主旨徹底ニ關シ可然考慮相  
成度

0041

●海軍構門通行取締及身分證  
明書ニ關スル件

昭和十八年五月十日  
橫濱機密第一四一六號ノ三

(參謀長ヨリ關係各廳長宛)

海軍構門通行取締及身分證明書ニ關スル件申進

首題ノ件本年官房機密第四一五號海軍構門通行取締及身分證明書ニ關スル件通牒(以下單ニ海軍省)ニ依ルノ外左記ノ通定メラレ候

記

第一 軍人、軍屬(工員ヲ含ム)

一 准士官以上平服ヲ着用シテ海軍構門ヲ通過セントスルトキ及文官以下制服ヲ着用セズシテ海軍構門ヲ通過セントスルトキハ本規定ニ依ル身分證明書ヲ携行スルノ外所定ノ徽章ヲ佩用(准士官以上ハ所持アル軍員並大ハ制服著用ノトキト雖モ佩用ス)スルモノトス但シ工員ハ各

第一類 軍 港

廳所定ノ工員徽章ヲ佩用スルモノトス  
二 判任文官一等ノ者ニ在リテハ身分證明書官等ノ下ニ「二等」ト記入スルモノトス

第二 人夫、從業員及供給工員

三 各廳ニ於テ使役スル常備人夫ニ就テハ工員ニ準ジ取扱フモノトス

四 臨時用役ノ爲出入ヲ要スル請負人等ニ於テ使役ノ人夫及從業員供給工員等ニ對シテハ各廳長ニ於テ橫須賀鎮守府門鑑及通門券規程第十六條ニ依ル通門許可願(作業ヲ要スルモノハ同規)ヲ請負人又ハ使役者ヨリ提出セシメ各廳長ニ於テ調査ノ上出入ヲ許可スルモノトス

五 出入ヲ許可シタル人夫、從業員及供給工員等ニハ通門許可腕章(別紙様式第一)ヲ交付(用布ハ出願者ヲシテ負擔セシム)シ之ヲ左臂ニ附著セシムルノ外出入ノ際ハ責任者ヲシテ引率セシメ各構門ニ於テハ氏名ヲ訊問シ且所持品ノ點檢ヲ行フモノトス

11/110

0042

使用済ノ通門許可腕章ハ許可廳ニ於テ取立ツルモノトス

各廳長ハ通門許可腕章交付簿(様式適宜)ヲ備ヘ之ガ交付竝ニ取立ノ狀況ヲ明カナラシムルモノトス

第三 特種通門券及門鑑交付者

六 特種通門券及門鑑交付者ニ對シテハ新聞記者、通信員、部内出入取扱規程及横須賀鎮守府門鑑及通門券規程ニ依ルモノトシ隨時氏名ヲ訊問ス

第四 構門内ニ在ル官(公)舍居住者

及面會人等

七 構門内ニ在ル官(公)舍居住者

官(公)舍居住世帯主ノ發行スル證明書(別紙様式第二)ヲ出入門ノ都度番兵(守衛)ニ提示スルモノトス 臨時同官(公)舍ニ宿泊ヲ爲ス者ニ對シテモ右ニ準ジ取扱フモノトス 但シ本證明書ハ學齡以下ノ小兒ニハ發行セザルモノトス

八 構門内ニ在ル官(公)舍居住者ニ對スル面會人

入門ニ際シ當該構門番兵(守衛)ヨリ「官舍面會票」(別紙様式第三)ヲ受ケ所要事項ヲ記入シ其ノ承諾ヲ得テ通門ス 而シテ右票ヲ携行シ面會ヲ済マセタル後所定欄ニ面會先ノ捺印ヲ受ケ歸途同構門ニ於テ之ヲ番兵(守衛)ニ返却シ出門ス 但シ面會先ニ於テ留守ナルトキハ適宜隣家ノ捺印ヲ受クルコトヲ得

九 陸上部隊(除航空隊)、各廳(除工作廳)、學校、病院

勤務者又ハ入院者ニ對スル面會人  
通門ニ當リ其ノ用件、積柄等ヲ番兵(守衛)ニ申し出デ「面會人通門票」(別紙様式第四)ノ貸與ヲ受ケ左胸部ニ附著シ通門ス 而シテ面會ヲ済マセタル後當該廳ノ發行スル「通門證」(別紙様式第五)ノ下付ヲ受ケ歸途出門ノ際「面會票」ト共ニ之ヲ番兵(守衛)ニ渡シ出門ス  
前項該當者ニ對シテハ横須賀鎮守府門鑑及通門券

秘例 第六

規程ニ依ル通門券ノ交付ハ之ヲ行ハザルモノトス

第五 雜 件

一 身分證明書ハ請求(様式第六)ニ依リ鎮守府副官ヲ

シテ所要數ヲ各廳長ニ送付セシム

第一八號但書ニ該當ノ事項ハ本請求書別紙ニ明細

ニ區分シ請求スルモノトス

二 身分證明書ニ添付スベキ寫真ハ最近撮影半身脱帽

ノモノトシ寫真ト身分證明書裏紙トニ廳長契印ス

ルモノトス

三 海軍省副官通牒第三號(四)徵備船船員用身分證明書

(同通牒第二様式第五)ノ裏面ニハ他ノ様式ト同様

ノ注意書ヲ記載シ寫真ハ之ヲ貼付セシメザルモノ

トス

三 身分證明書交付後亡失又ハ盜難ニ依リ再交付ヲ要

スルトキハ新番號ノモノヲ交付シ舊番號ハ爾後更

新迄缺號トシテ處理スルモノトス中途轉出、解備、

死亡等ニ依リ返付セシメタルトキ亦爾後更新迄同

番號ヲ使用セザルモノトス

四 前號ニ依ル亡失盜難其ノ他已ムヲ得ザル事情ニ依

リ使用ニ堪ヘザルニ到リ再交付ヲ爲シタルトキハ

其ノ旨鎮守府副官ニ通知スルト共ニ横須賀並ニ其

ノ附近所在ノ廳ニ在リテハ警備隊警衛長ニ通知ス

ルモノトス

五 身分證明書ヲ所持スベキ者ニシテ構門通過ノ際之

ヲ所持セザルトキハ所轄、職氏名、用件等ヲ訊ネ

シメ當該廳取締主任又ハ警備隊警衛長ノ指示ヲ俟

チ通門ヲ許可スルモノトス 尙制規ノ徽章ヲ附セ

ザル者ニ在リテハ構門衛兵(守衛)ハ前項ノ指示ヲ

受ケタル後用務廳ト確實ニ連絡シタル上通門ヲ許

可スルコトヲ得ルモノトス

六 廳長身分證明書ノ檢査(成ルベク當該)ヲ施行シタル

トキハ其ノ實施年月日、員數及實施ノ概要ニ所見

ヲ附シ報告(様式第七)スルモノトス

七 海軍省副官通牒第六號ニ依ル身分證明書發行原簿

第一類 軍 港

二〇三三

0044



及身分證明書受拂簿並ニ交付者名簿ノ様式ヲ左ノ如ク定ム

身分證明書發行原簿 様式第八

身分證明書受拂簿 兵備品會計規程第五號様式ニ準ズ

身分證明書交付者名簿 様式第九

一 海軍省副官通牒第十一號ニ依ル身分證明書ノ番號

ハ各種類毎ニ一貫番號トスルモノトス 但シ同一

種類ノモノ五〇〇名以上ニ及ブトキハ各部毎ニ區

分シ尙五〇〇名ヲ超ユルトキハ更ニ、イ、ロ、ハ、

別ニ細別シ五〇〇以上ノ番號ヲ使用セザルモノト

ス、コノ場合ニハ「醫一〇〇」(イ、ロ、ハ、ヲ)「船

ロ、三〇〇」(イ、ロ、ハ、ヲ)等ノ如ク區分ヲ番號ノ

上ニ略記スルモノトス

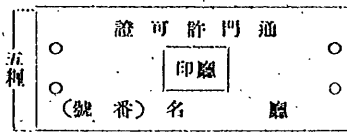
本規定第三號及第五號ニ依ルモノ亦同ジ

附記 昭和十七年五月一日横鎮第八三〇號軍港諸門通

行ニ關スル件ハ廢止セラル

(様式第一)

通門許可印章



五割

(註)

- 一、用布ハ白布トシ成ルベク強靱ノモノヲ用フ
- 二、字體ハ楷書トシ出來得ル限リ大書スルモノトス

(様式第二)

船岡甲第	號官舍居住
職名	
海軍	何
妻	何
何	何
某	
子	
右證明ス	
總印	

第一類 軍 港

(面 表)

第 號
面 會 人 通 門 票
13 欄
4 欄

(様式第四)

一、面會人ハ面會先ノ捺印ヲ受ケ歸路番兵ニ差出スコト  
 二、面會先不在ナル時ハ隣家ノ捺印ヲ受クルコト

官 會 面 會 票			
人 會 面		先 會 面	
名 氏	所 住	名 氏 官	所 會 官 號 番 在
		印 捺	

(様式第三)

(様式第六)

交付日 昭和 年 月 日 時刻	通 門 證			面會人 住所氏名
	所 轄	續 柄	氏 分 隊 面 等 會 名 級 人	
	當 校 長 直 印	業 職		年 齡
	衛 兵 印 長 伍			

(様式第五)

(面 裏)

○ (應 名)
安全ピンヲ附ス

秘 例 改 六

二ノ三四

0046

第一類 軍 港

二ノ二五

件名 番 號  
昭和 年 月 日  
日提出  
局長印

身分證明書請求書  
「願 名」

證明書種別	受入紙數	所要數	記 事
「高等式官用」			
「工 員 用」			別紙内譯書ノ迄
計			

(別紙)

内 譯 書	
番 號 區 別	番 號 枚 數
「船」	「自 〇〇〇 至 〇〇〇」
「船」	「自 〇〇〇 至 〇〇〇」
「醫」	「自 〇〇〇 至 〇〇〇」
合 計	「九〇〇」

備考 一、内譯ヲ要セザルモノハ別紙不用トス  
二、「」内ハ記入例ヲ示ス

(様式第七)

件名 番 號  
昭和 年 月 日  
日報告  
局長印

身分證明書検査報告  
「願 名」

種 別	検査年月日	員 數	記 事
「高等文官」	「二八、六、一」	「五〇」	
「判任文官」	「同」	「三〇」	

一、實施概要

二、所 見

備考 一、調査日ノ異ナル毎ニ別紙トスルモノトス  
二、「」内ハ記入例ヲ示ス

(様式第八)

0047

身分證明書發行原簿

類別 「准士官以上ノ部」			
題名 「横須賀鎮守府司令部」			
年月日	交付数	番 號	種 別
「18.6.1」	「59」	「五 59」	張

備考 一、類別毎ニ別冊トシ願別毎ニ口座ヲ設ケ別紙トス  
二、「」内ハ記入例ヲ示ス

(様式第九)

身分證明書交付者名簿

類別 「上以官士准」		類別	
番 號	交付年月日	亡失、返納等 年月日	官 氏 名 印
「1」	「八、六、」	「九、六、」 「亡失」	「中尉」何 某 印

備考 一、類別毎ニ別紙トシ見出シヲ附スルカ又ハ別冊トスル  
二、「」内ハ記入例ヲ示ス

コト

第一類 軍 港

三ノ三六

秘例 第六

0048

011111

0049